

# 令和3年度 学力向上に係る効果的な取組事例

## 「学力向上を目指したICTの効果的な活用に係る取組」



杉戸小マスコットキャラクター「ハビネス」

### 杉戸町教育委員会・杉戸町立杉戸小学校

#### 1 タブレット端末を活用した授業研究 ★ICT活用ポイント ○成果 △課題

##### 4年 「計算のきまり 計算のやくそくを調べよう」

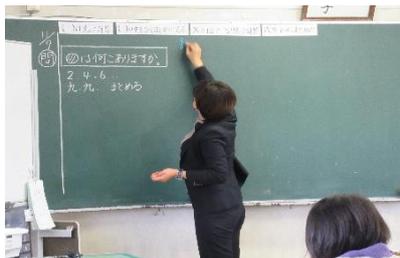
【本時の目標】ドットの数の求め方を図や式に表したり、図や式から読み取った考え方を説明したりすることができる。

★オクリンクを使用してドット図に自分の考えを書きこみ、友達の意見と比較した。

○オクリンクの活用で、自力解決ができなかった児童が他の児童の考えをヒントに考えることができた。

○短時間で考えの比較をすることができた。解決方法が分からない児童も全体の活動ではつぶやいていた。

△ノートに考えが残らない。使用時のルールの徹底が必須である。



##### 5年 「単位量あたりの大きさ 比べ方を考えよう(1)」

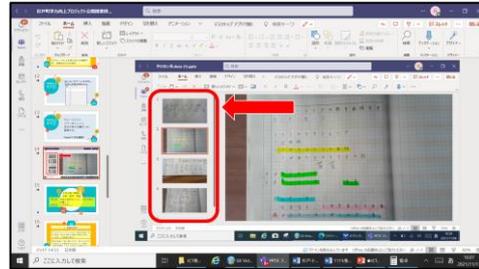
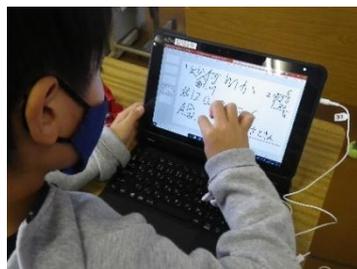
【本時の目標】単位量あたりの大きさの考えを基に、速さの比べ方を図や式を用いて考え、説明することができる。

★TeamsでPowerPointデータに自分の考えを書きこみ、ビデオ通話で説明し合う。

○グループでビデオ通話をする中で、児童一人一人の発言の機会を作ったり、質問し合ったりすることができた。

○PowerPointを使用することで、友達の考えに直接書き込みながら話し合いをすることができた。

△ビデオ通話の見取りが難しい。録画するとしても、動作が遅くなってしまう。



##### 6年 作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう「やまなし」

【本時の目標】言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

★教師自作のExcelファイルをグループごとに共有する。Excelファイルで「すごろくトーク」を行う。

○タブレットで「すごろくトーク」をしたことで児童の意欲が高まった。

○自宅でオンライン学習をしている児童も同じように授業に参加することができた。

すごろくトーク…  
ランダムで出た数字の分だけ自分の駒を進め、止まったマスの話題についてグループで話す活動

△タブレットに向かって話していたため、「人の目を見て話す・聞く」の徹底をさせる必要がある。



## 2 その他 授業実践

### ビデオ通話を使った学年体育



- ★Teams でビデオ通話をつなぎ、室内でできる運動を3クラス同時に行う。
- 体育ができない状況下でも、工夫して運動をすることができた。
- 同じ学年の担任が行うことで、親しみやすく、楽しんで取り組むことができた。
- △児童の様子が把握しにくく、個別の支援が難しかった。

### 外部講師とビデオ通話をつないだ講演会



- ★外部講師とZoomでつなぎ、学年全員で共有する。
- リアルタイムで話を聞くことができ、真剣に話を聞いていた。
- 講師と直接会話をすることで、つながっている実感が湧いているようだった。
- △話を聞くだけでなく、タブレットにメモをとるなどの手立てを講じる必要があった。

### ムーブノートを使用した作品交流



- ★ムーブノートで自分の作品（生き物図鑑）を「広場」にのせて見合う。
- 友達の書き方の良いところや、面白い見方をしていることに気付いた。
- 友達から「いいねマーク」で評価され、次時への意欲が高まった。
- △本時を迎えるまでの準備に時間がかかった。  
(ミライシードにログインする、ムーブノート进行操作する等の練習が必要)

### ドリルパークを用いた個別学習

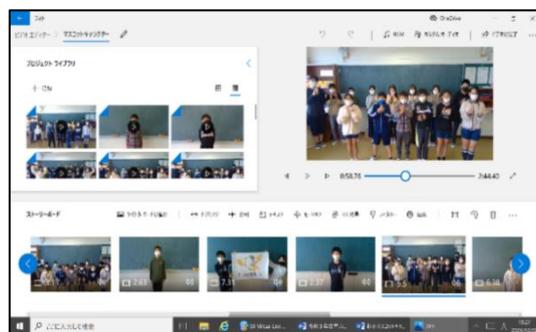


- ★新出漢字の学習の後、習熟の時間としてドリルパークで漢字を書く。
- 漢字の形だけでなく書き順も判定できるので、正しい書き順で習熟を図ることができた。
- 丸つけも即時されるので、児童は正しく漢字を学ぶことができた。
- △指定の新出漢字を開くことや、手書き入力に慣れる必要がある。

## 3 集会活動

### 児童集会

前期・後期代表委員の紹介や先生クイズ、マスコットキャラクターの発表など、教師用・児童用タブレットの動画編集ソフト「ビデオエディター」(右図)を使用して編集し、全校に放送することができた。撮影や編集などを児童が行えるようになったことで、ICT活用の力が高まり、各教科等にも生かすことができた。



## 4 成果と課題

- オンライン授業などの経験から、教員・児童がタブレットの操作に慣れ、ICTの使用頻度が大幅に上がった。
  - (10月の職員アンケートで約7割の教員が、タブレット端末を「ほぼ毎日使っている」と回答した)
- 友達の考えをすぐに見ることができたり、ゲーム感覚で学習に取り組めたりして学習意欲が高まった。
- △ICTの活用頻度にばらつきがあるため、年間計画に組み込む必要がある。今年度中に作成予定である。
- △通信環境が安定しないため、データが消えたり、ビデオ通話が遅れたりするトラブルが起きた。
  - インターネット回線の容量や速度を上げられないか要望を出していきたい。